



問 幕末維新博の準備状況は

答 奥四万十博をベースに

田中

幕末維新博は奥四万十博と違った形での観光・産業面の体制・人づくりが重要だ。高知県は幕末維新博に①歴史資源の磨き上げ②観光クラスターの形成と国際観光に繋がる持続可能な観光振興計画を策定している。本町での準備状況と開幕まではどう取り組んでいくのか。

池田町長

今年6月から観光クラスター協議会を設置。協議会には奥四万十博実行委員会メンバーや虎太郎社中も加入。周遊コース作り、観光ガイド育成・人材確保を図る。今までの観光資源と歴史資源を組み合わせ誘客したい。



奥四万十博ナビゲーターを務めたしんじょう君

川上教育長

幕末維新博に向けてハード整備については片岡別荘の改修工事を平成29年度に実施したい。本町には虎太郎邸・片岡別荘・津野町郷土資料館のほか、姫野々城跡もある。また、勤皇の志士を多く輩出しており歴史的な見どころは多くあると自負している。推進にあたり葉山史談会・高知県・佐川町青山文庫等の団体組織とも連携して取り組む。

田中

総合戦略「まち・ひと・しごと創生」政策5原則を推進されて1年経過した。成果や課題また新型交付金の活用はどうか。

池田町長

取り組み成果として、独創的なCM作成で本町の認知度の向上・情報発信、観光客の受け入れ・宿泊客の増加で事業効果があった。人口の社会減が続いている。今後効果的な事業への見直しを行いたい。

岡崎企画調整課長

27年度の地方創生先行型交付金については事業内容として奥四万十博準備経費・総合観光戦略等に使用。28年度は地方創生加速化交付金として地域ブランド担い手づくりや奥四万十博開催経費に使用している。

問 新型交付金の活用は

答 一定の事業効果があった

その他の質問

問 奥四万十博の総合的な評価分析は

答 新たな体験は今後に繋がる。官民連携の取り組みで経済効果は約1億円。

問 四国カルスト観光の全国化を

答 奥四万十博後も満天の星空や山岳観光等をPR